

2023. 3月号

2023年3月15日発行

発行元 認定NPO法人陽だまり
発行元住所 〒739-0025
東広島市西条中央7-17-35-101
電話 082-422-4115
<https://www.npo-hidamari.or.jp>

- ◇ コミュニティカフェ
- ◇ 陽だまりクラブ
- ◇ 訪問介護 / こどもくらぶ
- ◇ 事務局日より

パナソニックの助成事業で組織基盤強化に向けて発進！

陽だまりは、Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs の助成を受けて、組織基盤強化へ取り組むこととなりました。応募団体 30 件のうち採択は 9 件、助成額は 100 万円です。贈呈式では全国から集まった他団体と交流を深め、翌日には先進的な認定 NPO 法人を視察しました。

背景と目的

陽だまりは設立から 20 年を超え、事業も多岐に広がりました。一方で中心メンバーの高齢化が進んでいます。陽だまりの事業はどれも東広島で安心して暮らしていくためには欠かせないもの。今後も継続していけるように、資金不足や中心メンバーの世代交代といった課題解決に向けて、組織基盤強化に取り組む必要性が出てきました。

事業内容

この助成事業はコンサルタントと共に取り組みます。コンサルタントはひろしまNPOセンターの松村渉さんをお願いしました。初年度の今年は関係者へのアンケート調査を通して組織診断を行い、課題を明確にします。継続事業として採択されれば、2~3年目は診断に基づいた具体的な取り組みを行っていきます。

贈呈式

1月27日(金)、パナソニックセンター東京を会場に、贈呈式が行

われ、市川（代表）と石井（副代表兼事務局長）が出席しました。



贈呈式後の「組織基盤強化フォーラム」では過去の助成団体の基盤強化事例を聴くことができ、大変参考になりました。その後、他の助成団体や事務局の方々と交流して互いに志気を高めました。

認定 NPO 法人こまちプラスを視察

こまちプラスさんは横浜市戸塚区にあります。「子育てを、まちでプラスに。」を合言葉に、2軒のコミュニティカフェから「まちづくり」を発信。住民や企業と連携し、様々な「社会的課題解決型事業」を展開しています。

こまちカフェ

1月28日(土)、まずは「こまちカフェ」を訪問。カラダ

に優しいランチの提供の他、手作り作家さんの雑貨を販売する「棚貸



し」も行っています。また、地元商店と企業から出産祝いを送る「ウェルカムベビープロジェクト」を創出したり、おむつ自動販



売機を企業と共同開発したりと、その取り組みはとてもダイナミック！「こまちパートナー」という名のボランティア組織もあり、住民や企業を巻き込む手法が秀逸でした。

こよりどうカフェ

「こよりどうカフェ」

はお寺のお堂で運営されています。内装もステキでしたが、一番印象に残ったのは、どのスタッフさんたちも法人の歴史や理念を語れること。



陽だまりの今後に大いに参考となりました。



陽だまりクラブ



「陽だまりとの出会いと
人との出会い」
國丸 尚子さん（活動者）

私は、「テレビを見ている時間がどなたかの役に立ち、自分自身もメリハリのある一日が過ごせる様になればなあ」と市の傾聴ボランティア活動に参加していた時に、『陽だまり』のスタッフと出会い登録させていただきました。初めての活動は一人暮らしの高齢女性のお宅での食事作り。ドキドキし、家に帰ってからレシピを検索したことを覚えています。それから5年が経ちましたが、今もお買い物のお手伝いでこの方と一緒に掛かっています。これまでを振り返ると、ボランティア活動を通して「役立っている」という充実感よりも、出会いから得るものが多かったことに驚きです。今は90歳となられたこの女性は、「一人暮らしは自由でいいよ。一人だからきちんと自分を持って、スケジュールを立てて、『陽だまり』を利用して暮らしたらいいのよ」と言われます。それを聞いて、「将来一人になったらどうしよう」と不安を感じていましたが、「一人は怖くない!」と思えるようになりました。今ががんばっておいて、将来は『陽だまり』に助けてもらえたら安心して今の家で暮らしていけます。若い人にも入ってもらって、よい循環ができればと思います。



『陽だまり』の活動は、一期一会の気持ちで出会いを大切にでき、学ぶことが多いと感じています。活動費で大好きな手芸の材料を買えるのも嬉しいです。実家が遠いので、『陽だまり』の活動を通して母のことを思っています。



活動者募集

年齢・資格不問

～できる人ができる事をできる時に
～（活動費 600 円/時間）

訪問介護

※シリーズ「私なりに仕事を続ける」⑨※ 向井 敏子さん（ヘルパー）



私が介護に興味を持ったのは義母が認知症になったことがきっかけでした。

義母の介護経験が少しでも社会のお役に立てればと思い、16年前に陽だまりに入りました。多くの利用者さんと関わりましたが、今でも訪問する時は深呼吸をして扉を開けています。数回で受け入れて下さる利用者さんもらっしやればその逆もおられます。責任者や仲間へアドバイスを貰いながら訪問を重ねるうち、受け入れて下さった言葉を聞いた時は喜びで一杯になったことを今でも忘れられません。



「ありがとう」の言葉を聞く度にこの仕事を続けてきて良かったと実感でき、”次も頑張ろう”と意欲が湧きます。私がこの仕事を通して特に印象に残っているのは、お泊りサービスは絶対利用せず電動リフトをつけて”何がなんでも家に居たい”という信念のあった方をご支援できたことです。生き様を見せてもらったことが大変勉強になりました。自分が還暦を過ぎ気力体力の衰えを感じますが、身体を労りながらマイペースで仕事を続けられたらいいなと思っています。



※ ご利用者様アンケート ※



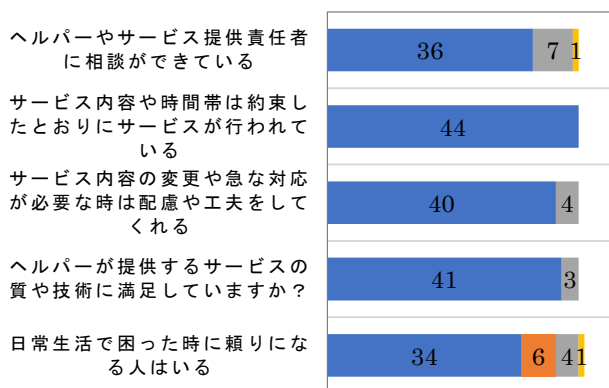
今年度もアンケートを実施し、68人中44人の方にご回答いただきましたこと厚く御礼申し上げます。概ね高評価を頂きましたことは事業所としてとても励みになりました。また、利用者様の良き話し相手や相談相手になることで安心した生活が送れるというご意見に訪問介護のやりがいを感じるどころです。そして気になるのは25%の方が困った時に頼りになる人がいないことです。陽だまりだからお手伝いできることがあるかもしれません。生活の工夫や提案に努めてまいりますので、遠慮なく陽だまりへ相談してください。

（報告者 山本 陽子）



訪問介護アンケート結果(回答44人)

■ はい ■ いいえ ■ わからない ■ 無記入



- ・片付けまできちんとしてくださっているので大変助かります。
- ・家にいることが多いので、いろいろな話をしてくださって、本人も楽しくしています。当面、現在の介護を続けていただければ良いです。
- ・お風呂の事が心配です(心臓に問題がありますから)。いつも自分事を話していますが、気持ちよく相談にのってくれています。感謝でいっぱいです。これからもよろしくをお願いします。



放課後子どもくらぶ

「放課後子どもくらぶを利用して」

村川 陽子さん(利用者)

陽だまり放課後子どもくらぶでは小4と小2の息子がお世話になっております。核家族で私も主人も転勤があり、東広島に住むことになりました。長男が小学校に入学する前に、陽だまりのことを伺い「ぜひ、入りたい!」と思いました。お世話になってからは、細やかな対応と学生やスタッフの皆さんが、子どもたちに優しく明るく声をかけ遊んでくださったり、手



作りのおやつを用意してくださり、習い事の送迎をしていただいたりと自分が家にいてもできないであろうと思うほどです。

長男が小2、次男が年長になる年に、主人が岡山へ転勤となり、ワンオペで育児・家事・仕事をするようになりました。職場が呉にあることもあり、迎えが20時頃になることもしばしばでした。帰りの車の中で、20時前後の迎えになることを電話すると「お母さん、ゆっくり気をつけて帰ってくださいね」「大丈夫ですから」と心温まるお声掛けをいただき、優しさが身に染みることがよくありました。

現在の私たち家族の生活があるのは陽だまりのお陰といっても過言ではないと思っております。陽だまりの関係者の皆さまに心より感謝いたしております。

～ 新年度に向けて～



陽だまり放課後子どもくらぶは東広島市の利用要件を満たす児童25名と、利用要件を満たさない児童3名の少人数制で実施しています。来年度は既に在籍児童で定員に達しており、新規のご案内が出来ない状況の中12月4日、見学会を開催しました。事前のお問い合わせで「待機」になる事をお伝えしたにも関わらず7組の方が見学に来られ、計12名のお申し込みがありました。見学された方からは「延長利用が出来るから」「臨時休校時の対応が出来るから」という



ご意見がありました。3月に入っても、お申込みお問い合わせが続いています。行き先が決まらない保護者は、安心して働く事も出来ません。少しでも

お役に立てればと、他の児童クラブのご紹介もさせて頂きました。陽だまりも広い場所に移転ができれば定員を増やす事ができます。物件情報などお寄せいただくなど、出来る形で子育てを地域で一緒に応援してください。よろしくをお願いします。(報告書 石井弥生)

🏠 求む：物件情報 🏠

西条中央で一軒家、アパートなど100平米くらいの物件がありましたらお知らせください。





一時預かりを利用して

依田 円さん（利用者）

いつも利用させていただいている fun fan 陽だまりで、一時預かりがスタートしたことを知り、1歳半の息子を預かって頂きました。

fun fan 陽だまりの子育てひろばは息子が5ヶ月になったくらいから、週に1、2回のペースで利用させていただいており、ひろばの雰囲気や、スタッフのみなさんを私も息子も大変気に入っています。

また、東広島には結婚を機に引っ越してきたため、知り合いも少なく不安でしたが、ひろばで出会うお母さん方とお話出来ることが楽しみになっています。

第二子の妊娠が分かり、つわり等でなかなか息子と遊んであげることが出来ない日がありました。しかし、お買い物ついでにひろばへ連れていくと、スタッフのみなさんが息子と遊んでくれるだけでなく、私の話し相手にもなってくれたり、とてもよい気分転換にもなりました。

そして、一時預かりがスタートすることを教えてくださり、お腹が大きくなり動くのが難しくなってきた私と離れる練習にと、すぐに利用させていただく事にしました。初回は1時間でもお願いしました。息子を家族以外に預かってもらうのが初めてだったため、ずっと泣いていたらどうしよう...と不安でしたが、迎えに行くといつも通り楽しそうにスタッフの方と遊ぶ息子に、笑ってしまいました。息子にとって、いつもの場所、そしていつものスタッフさん、そして雰囲気に安心して過ごすことが出来たのだと思います。今後も安心してひろば、そして時には一時預かりを利用していただきたいと思います。



事務局だより



厚生労働省の視察

1月11日、厚生労働省老健局長が fun fan 陽だまりを視察にられました。多世代交流施設で行う[百歳体操]は全国でも珍しい事例だそうです。当日は老健局長も体操に参加されました。



（右側：背広の男性）

メディア関連

12月から fun fan 陽だまりで開始した「一時預かり」が中国新聞と広島ホームテレビ「5up」で取り上げられました。どうぞご覧ください。



ご寄付のお礼

2月までに142人の企業・個人様から計1,745,568円のご寄付をいただきました。

頂いたご寄付は法人の運営、ご指定頂きました事業の運営に使わせていただきます。

みなさまありがとうございました。



講師派遣

- ・1月16日、広島国際大学渡辺ゼミにおいて、地域福祉を学ぶ学生を対象に「陽だまりの活動」をテーマに代表の市川が講義を行いました。
- ・2月19日「福山市高齢者お出かけ支援事業」の運転者講習会に副代表兼事務局長の石井が講義を行い11名が受講しました。

